

2026年9月25日
株式会社スマートバリュー
株式会社 One Bright KOBE
神戸トヨペット株式会社

スマートバリューおよび連結子会社 One Bright KOBE

神戸トヨペットら民間企業と

「神戸アーバンモビリティ・コンソーシアム」を始動

～神戸市と連携し、TOTTEI を起点に、神戸の回遊を生む次世代モビリティの都市実装を推進～

株式会社スマートバリュー（本社：大阪府大阪市、取締役兼代表執行役社長：渋谷 順、以下「当社」）および連結子会社である株式会社 One Bright KOBE（兵庫県神戸市、代表取締役社長：渋谷 順、以下「One Bright KOBE」）と神戸トヨペット株式会社（兵庫県神戸市、代表取締役社長：西村 公秀、以下「神戸トヨペット」）は、民間企業とともに、神戸市との連携のもと、「神戸アーバンモビリティ・コンソーシアム」を始動します。また、JTQ 株式会社が、構想設計および都市体験設計を担うアドバイザーとして参画します。

本コンソーシアムは、TOTTEI および GLION ARENA KOBE（※1）を起点に、ウォーターフロントと三宮、新神戸、神戸空港などをつなぎ、人の移動をまちの滞在、交流、消費へと広げる次世代モビリティの都市実装を推進します。歩いて楽しめる都市と、移動しやすい都市を両立する「Walkable & Motorable」を掲げ、社会的価値と経済的価値をともに生み出す CSV 型都市実装モデル（※2）の構築を目指します。

1. 背景と目的

スマートバリューおよび One Bright KOBE は、2025 年 4 月に開業した GLION ARENA KOBE を中心に、神戸に新たな感動、交流、にぎわいを生み出す事業を推進しています。

年間 200 万人の来場を目標とする TOTTEI への人の流れを、ウォーターフロントの内側だけで完結させず、三宮、新神戸、神戸空港をはじめとする市内各所へ広げていくことで、来場を神戸の回遊、滞在、消費へとつなげることができます。

一方、創業 70 周年を迎えた神戸トヨペットは、長年にわたり地域の移動を支え、モビリティに関する技術、運用、ホスピタリティの基盤を培ってきました。

こうした各者の知見・技術・資源を持ち寄り、神戸市とは都市政策や交通政策との整合を図りながら継続的に連携し、次世代モビリティを活用した新しい都市体験を具体的に実証・実装するため、本コンソーシアムを始動します。



2. 未来に向けたビジョン

本コンソーシアムは、TOTTEI、三宮、新神戸、神戸空港を結ぶ南北の都市軸と、ウォーターフロント周辺の東西の回遊を重ね合わせる「神戸インデックスライン（仮称）」の構築を目指します。

陸上交通だけでなく、2027年に隣接水域で開業が予定されているマリーナや、One Bright KOBEが構想するeVTOL（空飛ぶクルマ）ポート（※3）なども見据え、陸・海・空のモビリティが連動する神戸ならではの都市モデルへと発展させます。

さらに将来的には、本人の同意を前提とした安全なID連携や、移動・滞在・消費データの活用についても検討し、市民や来訪者の利便性向上と、データに基づく持続的なまちづくりに貢献していきます。



3. 具体的な取り組み

第一段階として、2027 年を目途に、次世代モビリティサービス向けバッテリーEV「e-Palette」の導入に向けた検討を進めます。神戸ストークス（※4）のホームゲーム開催時に、TOTTEI と三宮などの主要拠点をつなぐ移動手段として活用するとともに、選手やチームとのつながりを感じられる演出など、ファン・ブースターにとって移動そのものが特別な体験となるサービスを構想します。単なる送迎にとどまらず、試合前後の時間を神戸のまちへと広げ、来場者の回遊と新たな交流を生み出すモビリティの実装を目指します。

4. コンソーシアムとコモンズ

「神戸アーバンモビリティ・コンソーシアム」は、民間企業がそれぞれの知見・技術・資源を持ち寄り、神戸市との連携のもと、実証、制度設計、事業化、社会実装を推進する実行組織です。一方、将来的に形成を目指す「神戸モビリティコモンズ」は、企業、行政、市民、来訪者など、多様な主体が移動を起点に参加し、新しい都市体験と共有価値を生み出す共創基盤です。まず実行主体となるコンソーシアムを設立し、具体的な都市実装を積み重ねながら、より開かれた神戸モビリティコモンズへと発展させます。

5. 推進体制

推進主体	神戸アーバンモビリティ・コンソーシアム
行政連携	神戸市
参画企業	株式会社スマートバリュー 株式会社 One Bright KOBE 神戸トヨペット株式会社 ほか
アドバイザー	JTQ 株式会社

組織と構想を分け、神戸のモビリティ共創を推進する。

「コンソーシアム」が推進し、「コモンズ」を神戸に形成する。



神戸アーバンモビリティ・コンソーシアムを発足し、官民共創によって「神戸モビリティコモンズ」の形成を目指す。



6. ロードマップ

2026 年	コンソーシアム始動、TOTTEI を起点とした実装検討
2027 年	ウォーターフロント回遊の実証、次世代モビリティの導入検討
2028 年	神戸インデックスラインの設計、海上モビリティとの連携
2029 年	自動運転を含む次世代モビリティの実装実験
2030 年以降	陸・海・空の移動と都市データが連動する「Kobe Tri-Mobility OS(仮称)」への発展



7. 共同メッセージ

株式会社スマートバリュー（株式会社 One Bright KOBE・株式会社ストークス）

取締役 兼 代表執行役社長 渋谷 順

TOTTEI の誕生によって、神戸を訪れる新しい理由が生まれました。次に必要なのは、その来訪をウォーターフロントから都心、そして神戸全体へと広げていくことです。モビリティを単なる移動手段ではなく、人、場所、体験、消費をつなぐ都市の装置として捉え、官民共創による実装を進めてまいります。

神戸トヨペット株式会社

代表取締役社長 西村 公秀

神戸トヨペットは、創業以来 70 年にわたり、地域の皆さまの移動を支えてきました。これまで培ってきたモビリティに関する知見とホスピタリティを生かし、神戸の新しい回遊と体験を生み出す取り組みに挑戦してまいります。地域に根ざしてきた企業だからこそ、これからの神戸の移動の未来を、皆さまとともににつくっていきたくと考えています。

神戸市

理事兼港湾局長 山本 雄司

ウォーターフロントと都心の回遊性を高めることは、神戸のさらなる活性化に向けた重要なテーマです。本コンソーシアムを通じて、官民の知見を結集し、神戸ならではの次世代モビリティの社会実装が進むことを期待しています。

アドバイザー

JTQ 株式会社 谷川じゅんじ

次世代モビリティは、単に人を運ぶ手段ではなく、人、場所、時間、体験をつなぎ直す都市のインターフェースです。TOTTEI を起点に陸・海・空の移動を編み、訪れる人と暮らす人の双方に、新しい神戸の体験と回遊を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

(※1) TOTTEI および GLION ARENA KOBE

One Bright KOBE が運営する TOTTEI（新港第 2 突堤）および次世代アリーナ「GLION ARENA KOBE」は、神戸ウォーターフロント再開発の中核を担う存在。神戸の中心地である三宮・元町エリアに近接しており、年間 200 万人の来場を目標とし、観光・ビジネス・高付加価値移動といった、多様なモビリティ需要が見込まれるポテンシャルの高いエリア。

(※2) CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）型都市実装モデル
企業の事業活動を通じて、地域の課題解決（社会的価値）と経済効果（経済的価値）の双方を最大化させる都市整備の手法のこと。

(※3) eVTOL（空飛ぶクルマ）のポート設置に関する詳細は[こちら](#)

(※4) 神戸ストークス
GLION ARENA KOBE を本拠地とする B.LEAGUE 所属のプロバスケットボールチーム。
当社連結子会社である株式会社ストークスがチーム運営を担う。

株式会社スマートバリュー 会社概要

名称	株式会社スマートバリュー
代表	取締役兼代表執行役社長 渋谷 順
所在地	大阪府大阪府中央区安土町 3 丁目 5-13 本町ミッドキューブ 12F WeWork 本町内
設立年月	1947 年 6 月
資本金	1,044,944 千円（2026 年 6 月末現在）
上場市場	東証スタンダード市場（証券番号：9417）
事業内容	クラウドソリューション事業
公式 HP	https://www.smartvalue.ad.jp/

株式会社 One Bright KOBE 会社概要

名称	株式会社 One Bright KOBE
代表	代表取締役社長 渋谷 順
所在地	兵庫県神戸市中央区新港町 2-1
出資企業	株式会社スマートバリュー、株式会社 NTT ドコモ
公式 HP	https://www.totteikobe.jp/

神戸トヨペット株式会社 会社概要

名称	神戸トヨペット株式会社
代表	代表取締役社長 西村 公秀
所在地	兵庫県神戸市兵庫区水木通 2-1-1
公式 HP	https://www.kobe-toyopet.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スマートバリュー 社長室 Division 大門・松山
TEL：06-6227-5577 MAIL：info@g.smartvalue.ad.jp
本件専用お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/UpNkdHCfbS8KNKSb7>

神戸トヨペット株式会社 経営企画部 梶山
TEL：078-576-5369 MAIL：keieikikaku@kobetoyopet.co.jp